

患者の皆様・来院される皆様へのお願い

患者さんが安心して治療を受けられるよう、感染制御部を中心に感染対策に取り組んでおります。病院には感染しやすい方が多くいらっしゃいます。感染しやすくなるような治療も実施されます。私たち職員も患者さんを感染から守るよう対策をとりますが、患者さんやご来院の方もお協力くださいますようお願いいたします。

1. 全ての皆様へ ご協力をお願いいたします

★病院へ入館する際の体温チェック

正面玄関入口、3号館入口にて検温器で体温チェックを行っております。発熱や咳がある等、体調の変化がある場合は受付等でお申し出ください。

★マスクの着用について

病院内でのマスク着用は感染症の流行状況に応じて変わります。

「通常期」は周囲の状況やご自身の体調に合わせ、着脱を自由に選択いただけます。医療従事者から依頼があった場合にマスク着用をお願いする場合がございますので、マスクをご持参いただきますようお願いいたします。

「流行期」はマスクの着用をお願いいたします。感染症の流行ピークが過ぎたら、「通常期」に戻ります。

通常期、流行期のお知らせは、院内のデジタルサイネージなどでお知らせいたします。なお、発熱・咳・くしゃみ・鼻水など症状のある方、特定のエリア（10C病棟、腫瘍・免疫統括センター外来治療室）に入る方、医療従事者から指示があった場合は引き続きマスク着用をお願いいたします。

「通常期」においては、マスクを着用する方・しない方、双方の考えを尊重し、配慮し合うようご理解・ご了承のほどお願い申し上げます。

※マスクは院内の自販機やコンビニエンスストアでお買い求めいただけます。



2. 入院患者の皆様へ ご協力をお願いいたします

★面会、外出や外泊について

医療上必要な患者さんに面会、外出や外泊をおこなっております。くわしくは担当の医師、看護師にご相談ください。

★手指衛生について

お食事の前、トイレの使用後、病室の出入りの際などに手指衛生（流水で手を洗ったり、アルコール含有手指消毒薬をつかって手をこする）を行ってください。ベッドから動けない場合でもお食事の前には実施をお願いいたします。



★トイレご使用時の感染予防について

病院の中ではお薬がききにくい薬剤耐性菌が問題になることがあります。トイレなどを介して患者さんご自身で感染してしまうこともあります。トイレの清掃は行っておりますが、トイレ使用後に手指衛生を怠ると感染してしまうことがありますので、ご注意ください。また、トイレに設置されている便座除菌クリーナーで使用前に便座などを拭くこともおすすめしています。体調の悪い場合は看護師がお手伝いいたします。

★入院環境について

入院中の病室は人の出入りが多く、さまざまな処置も行います。清掃担当者が入りますが、ご自身ができる範囲で環境を整えたり、不要なものを持ち込まないようにしてください。

★感染症発症時のお部屋の移動や検査・対応について

感染症の患者さんに個室移動をお願いすることがあります。お部屋が不足していると個室を希望している患者さんに、大部屋に入院していただいたり、入院後に大部屋に移動していただくなど、お部屋の移動をお願いすることがあります。

同じ病棟の中などで、他の患者さんの薬剤耐性菌の検出や新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染がわかったときに、患者さんに感染していないかを確認するための検査をお願いしたり、予防的にお薬を使ったり、マスクの着用をお願いすることがあります。その際は、ご理解とご協力をお願いいたします。

3. ご家族・ご面会の方へ ご協力をお願いいたします

★面会について

ご家族・ご面会の方は無症状でも市中感染をしている可能性があります。直接の面会は医療上必要な患者さんに実施しておりますのでご理解ください。病院からご家族の来院をお願いする際は、2 名程度で来院してください。来院者や来院者の同居者に熱、咳や鼻水など風邪症状や、吐き気、下痢などの症状がある場合は恐れ入りますが来院をお控えください。院内では手指衛生の実施をお願いいたします。

★生花、加湿器の持ち込みについて

患者さんの中には、古くなった水の中で増える微生物によって、感染症をおこす方もいらっしゃいます。とくに生花（水替えを含む）、加湿器（水の取り換えを含む）には厳重に注意しなければなりません。病棟や患者さんの状況によってはお花の持ち込みを控えていただいております。ご家族・ご面会の皆様のご協力をお願いいたします。

感染症の予防には皆様のご協力が不可欠です。
ご理解とご協力をいただき、安全な医療環境の維持にご協力ください。

